

## 令和5年度「ブルーベリー・ブルー」病害虫防除暦（JAながの志賀高原ブロック）

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRA C コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病害虫 *太字は重点 病害虫	収穫前 使用 規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策
1 発芽前 月 日	— M2	水 スプレーオイル 石灰硫黄合剤	93 ㍓ 2 ㍓ 5 ㍓	— 50 倍 20 倍	300 ㍓	カイガラムシ類 ふくろみ病	発芽前	—	石灰硫黄合剤に替えて、トレノックスフロアブル500倍（14日前・年3回）を散布しても良い。
2 開花 1.2分咲き 月 日	M1	水 ICボルドー412	100 ㍓ 3.3 Kg	30 倍	300 ㍓	ふくろみ病 カイガラムシ類			※ブルーベリーはこの防除を行わない。
3 5月上旬 月 日	— 25	水 展着剤 アグレプト水和剤	100 ㍓ 10 m㍓ 100 g	— 10,000 倍 1,000 倍	300 ㍓	黒斑病	30 日まで	2 回	○アグレプト水和剤はさくらんぼ、ブルーベリー、アスパラに対しての残留基準値が0.01ppmである為隣接園はドリフトに十分気を付けて散布する。 ※ブルーベリーはこの防除を行わない。
4 5月中旬 殺虫剤 解禁直後 月 日	25 M7 1	水 展着剤(まくびか) アグレプト水和剤 ㊟ モスピラン顆粒水溶剤	100 ㍓ 14 m㍓ 100 g 25 g	— 7,000 倍 1,000 倍 4,000 倍	300 ㍓	黒斑病 アブラムシ類 シンクイムシ類	30 日まで 前日まで	2 回 3 回	○カイガラムシの発生が多い園はアブロード水和剤 1,000倍（14日前 年2回以内）を加用して散布して下さい。 ○モスピラン顆粒水溶剤・バリアード顆粒水和剤は葉への薬害軽減の為、早朝の温度に低い時間帯に散布する。 ※ブルーベリーはアグレプト水和剤は加用せずにモスピラン顆粒水溶剤のみ散布
5 5月下旬 (前回より 11日後) 月 日	41 1 3	水 展着剤(まくびか) マイコシールド サイアノックス水和剤 ㊟ バイスロイドEW	100 ㍓ 14 m㍓ 50 g 100 g 33 m㍓	— 7,000 倍 2,000 倍 1,000 倍 3,000 倍	400 ㍓	黒斑病 アブラムシ類 シンクイムシ類	21 日まで 21 日まで 14 日まで	3 回 2 回 2 回	○マイコシールドはアスパラ、ぶどう、ブルーベリーに対しての残留基準値が0.01ppmである為、隣接園はドリフトに十分気をつけて散布する。 ○アグレプト水和剤はさくらんぼ、ブルーベリー、アスパラに対しての残留基準値が0.01ppmである為隣接園はドリフトに十分気を付けて散布する。 ○昨年黒斑病多発園は、トレノックスフロアブル500倍（14日前・年3回）を加用する。
6 6月上・中旬 (前回より 12日後) 月 日	— 41 1	水 展着剤(まくびか) マイコシールド ㊟ ダーズバンドF	100 ㍓ 14 m㍓ 50 g 33 g	— 7,000 倍 2,000 倍 3,000 倍	500 ㍓	黒斑病 シンクイムシ類 アブラムシ類	21 日まで 14 日まで	3 回 2 回	○ダーズバンドFはももの残留基準値がありませんので隣接のももへのドリフト、ももへの散布の際はタンク内の洗浄を必ず行ってください。 ○マイコシールドはアスパラ、ぶどう、ブルーベリーに対しての残留基準値が0.01ppmである為、隣接園はドリフトに十分気をつけて散布する。

昨年スモモヒメシンクイが発生した園は、ナシヒメコンを6月15日頃を目途に10a当り100本設置する。

7		水	100 ℓ							
6月下旬 (前回より 12日後)	—	展着剤(まくびか)	14 mℓ	7,000 倍	500 ℓ	灰星病	7 日まで	3 回		
月 日	M7	ベルコートフロアブル	50 mℓ	2,000 倍						
	4	㊟ モスピラン顆粒水溶剤	25 g	4,000 倍						
8		水	100 ℓ							
7月上旬 (前回より 11日後)	—	展着剤(まくびか)	14 mℓ	7,000 倍	500 ℓ	灰星病 すす点病	前日まで	3 回		※大石早生最終防除
月 日	11	アミスター10フロアブル	100 mℓ	1,000 倍						
	3	アーデントフロアブル	50 mℓ	2,000 倍						
9		水	100 ℓ							
7月中・下旬 (前回より 11日後)	—	展着剤(まくびか)	14 mℓ	7,000 倍	500 ℓ	灰星病	前日まで	2 回		※紅りょうぜん最終防除
月 日	3	アンビルフロアブル	100 mℓ	1,000 倍						
	4	㊟ モスピラン顆粒水溶剤	25 g	4,000 倍						
10		水	100 ℓ							
8月上旬 (前回より 11日後)	—	展着剤(まくびか)	14 mℓ	7,000 倍	500 ℓ	灰星病	前日まで	2 回		※ソルダム・サマーエンジェル最終防除
月 日	11	プリントフロアブル25	50 mℓ	2,000 倍						
	3	アーデントフロアブル	50 mℓ	2,000 倍						
11		水	100 ℓ							
8月中旬 (前回より 12日後)	—	展着剤(まくびか)	14 mℓ	7,000 倍	500 ℓ	灰星病	3 日まで	3 回		※貴陽最終防除
月 日	M7	ベルコートフロアブル	50 mℓ	2,000 倍						
	3	㊟ イカズチWDG	66 mℓ	1,500 倍						
ナシヒメコンの2回目の設置は、太陽以降の品種で8月10日頃を目途に10a当り50本を交換設置する。										
12		水	100 ℓ							
8月下旬 (前回より 11日後)	—	展着剤(まくびか)	14 mℓ	7,000 倍	500 ℓ	灰星病	前日まで	2 回		①シンクイムシ類が多発している場合は㊟イカズチWDG1,500倍(前日・年2回)に㊟ダースバンDF3,000倍(14日前・年2回)を特別散布する。尚、散布後14日以内に収穫する品種がある場合は、ダースバンDFに替えて㊟バリアード顆粒水和剤4,000倍(前日・年2回)を使用する。
月 日	7	パレード15フロアブル	33 mℓ	3,000 倍						
	4	㊟ バリアード顆粒水和剤	25 mℓ	4,000 倍						

13 9月上旬 (前回より 12日後) 月 日	3 3	水 展着剤(まくびか) オンリーワンフロアブル アーデントフロアブル	100 ℓ 14 mℓ 50 mℓ 50 mℓ	7,000 倍 2,000 倍 2,000 倍	500 ℓ	灰星病 シンクイムシ類	前日まで 前日まで	3 回 3 回	○オンリーワンフロアブルはブルーベリーに対して食品衛生法の残留基準値が最小レベルの0.01ppmである為、隣接園はドリフトに十分気をつけ散布する。 ※秋姫最終防除
14 9月中旬 月 日	M1	水 ICボルドー412	97 ℓ 3.3 Kg	30 倍	500 ℓ	黒斑病			①前回散布から14日後にICボルドー412の30倍を散布する。
15 9月下旬～ 10月初旬 月 日	1B -	水 ガットキラー乳剤 アプローチBI	100 ℓ 1 ℓ 100 mℓ	100 倍 1,000 倍	200 ℓ	コスカシバ	休眠期	1 回	腰から下の主幹部に洗い流すよう、手散布でたっぷり散布する。

※ ㊦は劇物です。購入の際は印鑑が必要です。

この防除基準はJAながの志賀高原にて作成されたものですので、地区内生産者・組合員以外の利用を固くお断りします。